

広大通信

発行/広島大学広報グループ



【連絡先】
広島大学広報グループ
〒739-8511 広島県市鏡山1-3-2
☎082-424-3749 ☎082-424-6040
E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

越智光夫学長 年頭挨拶

令和2年 広島大学の未来のため ともに歩みを進めよう

あけましておめでとうござい
ます。今年、令和に元号が改
まってから初めて迎える新しい
年であり、いつもの年頭にも増
して清々(すがすが)しさを感じ
ます。皆さん一人一人にとつ
て良き年となりますよう、心よ
り折念いたしております。

昨年は、角筆研究の第一人者
として知られる本学名誉教授の
小林芳規先生が、栄えある文化
功労者の顕彰を受けられるな
ど、嬉しいことも数多くありま
した。

SDGsの目標達成 に向けた覚悟を

一方、地球を俯瞰してみれば、
地球温暖化のもたらす深刻なり
スクがまさしく現実のものにな
ったといえます。

10月中旬、台風19号が、東日
本各地に記録的な豪雨をもたら
しました。洪水や河川のはんら
ん、土砂崩れによって、多くの
人命が奪われました。一昨年の
2018年にも、日本列島は西

日本豪雨や猛暑に見舞われまし
た。「世界で最も気象災害がひど
かった国は日本である」。ド
イツの環境シンクタンクが昨年
末に公表した報告書は、私たち
が肌で感じている通りでありま
す。

地球温暖化によって、海や陸
の生態系にも深刻な影響が表れ
ている折、昨年12月にスウェー
デンのストックホルムで「国連気候変動
枠組み条約第25回締約国会議」
(COP25)が開かれました。各
国政府に具体的な行動が求めら
れるのもちろんです。スウ
エーデンの若いグレタ・トゥー
ンベリさんが「希望は人々から
生み出されるのです」と訴えた
ように、私たちも自分自身がで
きるSDGsの目標を定め、歩ん
でいく覚悟が必要です。

平和のメッセージを 世界へ

平和に関しては昨年11月、口
イマ教皇として38年ぶりに来日
したフランシスコ教皇が長崎と

広島を訪れました。「原子力の戦
争目的の使用は倫理に反します。
核兵器を保有することもまた倫
理に反します」と、世界に向か
ってアピールを発したのは記憶
に新しいところです。

平和に關してもう一言申し述
べれば、本学の平和センターが
広島市立大学平和研究所ととも
に東千田の大学本部跡地に残る
被爆建物の旧理学部一号館に移
転することが決定しました。新
たな平和教育研究拠点として、
オール広島で世界に発信してま
いりたいと思います。

また、「平和の大学」として、
被爆75周年にあたる今年、8月
6日に海外からできるだけ多く
の学生を広島に招くためのクラ
ウドファンディングも計画の中
です。将来、彼らがリーダーとな
って、広島で学んだ平和のメ
ッセージを世界に広げてもら
いたいと思います。東広島キャ
ンパスで今年着工する国際交流
拠点施設についても、平和を希
求しチャレンジする精神を育む
場となってほしいと願っており
ます。

フェニックス奨学制度 で未来を拓く

さて、昨年も、教職員や学生
の皆さんから、さまざまなご意
見やご提案を寄せていただきま
した。その中でも私が心からう
れしく思ったのが、ある法務研
究科修士の方から届いたメー
ルでした。

この方は、家庭の事情で大学
に進学するが否か悩んでいたそ
うです。その時、入学料および
在学中の授業料を全額免除し、
毎月10万円の奨学金を給付する
広島大学フェニックス奨学制度
を知って本学を受験、優秀な成
績でフェニックス奨学生に採用
されました。そして法学部を
て法務研究科に進み、昨年5月
司法試験に見事合格しました。

いま司法修習生として頑張っ
ているというこの方は「フェニ
ックス奨学制度のおかげで切り
拓くことのできた進路です。良
い実務家になれるよう一層精進
してまいります。」と記し、今後

もとより、大学改革は執行部だ
けで進められるはずありません。
皆さんのアイデアや提案こそ
が、新たなイノベーションを生み
出す力となります。広島大学の未
来のために、皆さんとともに歩
んでまいりたいと思います。そう
して将来振り返った時、歩んだ道が光
り輝き、正しかったと言えること
を切に願っています。



は支える側にな
り、少しでも広
島大学の力にな
れるよう努めた
い、と結んでい
ました。

大学はまさに
変革期の真った
だ中にあります。
広島大学も大学
院改革やそれに

伴う運営体制の改革等に、主体的
に取り組んでまいりましたが、今
年4月の人間社会科学部研究科と先
進理工系科学研究科の設置をもつ
て、ほぼ一段落いたします。皆さ
ん方にはこの間、大きなエネルギー
を振り向けていただきましたこ
とに感謝いたします。これからは、
落ち着いた環境で一層教育研究に
励んでいただけることと確信して
おります。



広島大学、長崎大学、福島県立医科大学によって平成28年4月に設置されたネットワーク型拠点「放射線災害・医科学研究拠点」が、令和2年2月に「第4回ふくしま県民公開大学（主管校：福島県立医科大学）」を福島県郡山市で開催する。

日時：令和2年2月9日（日）13時～15時15分

場所：郡山市中央公民館（福島県郡山市麓山二丁目8-4）

「ふくしまで歩む 未来へつなぐ」をテーマに、拠点内で実施している共同利用・共同研究の成果発表等を県民の皆さんと共有することにより、今後の復興の一助とすることを目指す。



締結した協定

広島大学基金寄附者
ご厚意に深く感謝申し上げます。

- 飯島 俊荘様
医療法人S.O.C.
中光整形外科リハビリクリニック
院長 中光 清志様
医療法人エム・エム会
理事長 白川 泰山様
医療法人おち眼科医院
理事長 越智 温子様
医療法人S.O.C.
金谷整形外科クリニック
理事長 金谷 篤様
医療法人社団楓会 林病院
理事長 林 淳二様
医療法人社団慈恵会いまだ病院
院長 大杉 健様
医療法人社団仁慈会
理事長 安田 克樹様
医療法人社団スマイル
博愛クリニック
理事長 高杉 啓一郎様
医療法人社団清流会
理事長 永井 賢一様
医療法人社団マツキ
理事長 松木 啓様
医療法人社団まりも会
理事長 平松 廣夫様
医療法人昭和原田整形外科病院
理事長 原田 昭様
医療法人せいざん青山病院
院長 大村 泰様
医療法人清泉会 一ノ瀬病院様
医療法人明笑会
理事長 安本 正徳様
岩原 恭代様
大谷 美奈子様
大地 晴子様
小澤 健一様
オタフクソーズ株式会社
代表取締役社長 佐々木 直義様
越智 光夫様
加賀谷 有行様
株式会社紀陽
代表取締役社長 寒川 起佳様
株式会社総合広告社
代表取締役副会長 坪井 高義様

- 株式会社ダイクレ
代表取締役社長 山本 浩様
株式会社にしき堂
代表取締役 大谷 博国